

(様式5)

【通常年】指定管理者評価結果

施設区分

図書館

指定管理者

特定非営利活動法人くりやま

施設担当課

社会教育課

評価期間

令和6年11月

～

令和7年10月

【通常年】指定管理者評価結果

●施設担当課分析・評価

・評価すべき点

施設名	内 容
図書館	ミニくりプロジェクトの3事業（ミニくり号学校巡回、司書派遣、学校図書館専門司書派遣）は、子どもたちの読書環境に影響を与える不可欠な事業となっており、図書館司書の努力の成果と考える。ハッピーハロウィンライブラリーは今年度はインフルエンザ等の影響により参加者は減少してしまったが、毎年利用者が楽しみにしている事業へと成長させている。職員の仮装、館内の装飾・消灯等、非日常感を演出し来館者を飽きさせない取り組みは評価できる。また夢十夜事業はハロウィンライブラリー同様、これまでの図書館のあり方を覆す「静」から「動」への取り組みとして大変評価できる。

・改善すべき点、要望点

施設名	内 容
図書館	<p>委託事業である視聴覚関連事業については、新作購入年に利用がされることから、今後は積極的な資料購入とPRに務めていただきたい。</p> <p>自主事業のふるさと学習支援事業はパスファインダーの作成だけではなく、活発な活用方法について学校等と協議し事業を進めていただきたい。</p> <p>資料のデジタル化事業は今年度の取り組みを次に繋げ活用のための方策を立てていただきたい。</p>

・総合分析、評価

<p>図書館は静かに本を読む場から、コミュニティスペースとしての役割を求められる施設となっている。</p> <p>開架スペースの座席数が少ないことは以前から言われていたが、個別での勉強、グループディスカッションの場の確保のため、事業で使用していない時期にはギャラリーに机とイスを設置し利用者サービスを拡充している。</p> <p>現在はイートインスペースを設け飲食を利用者ニーズに応じた取り組みを実践している。</p> <p>今後も利用者ニーズの把握に努め指定管理者らしい事業展開を実施していただきたい。</p>
--

●評価委員意見

・総合評価

【評価すべき点】

- ・幅広い世代から親しまれている、自主事業「ハッピーハロウィンライブラリー」や「図書館夢十夜」など、従来の図書館のイメージにとらわれない独創的かつ様々な自主事業の展開を行い、利用目的の幅を広げるためのアイデアや改善など真摯に取り組んでいる。
- ・ギャラリースペースの利活用やイトインスペースの設置など、利用者ニーズを的確に捉えた魅力ある施設管理を実施しており、地域のコミュニティスペースとして機能している。
- ・図書館だよりやホームページ、SNSを用いた積極的な情報発信により、利用者拡大に努めている点が評価できる。

【評価できない点・改善及び対応要望点】

- ・乳幼児から本に親しむ習慣を育むための保護者へのアプローチやデジタル化の進展に伴う読書離れへの対策など、更なる事業の創意工夫を期待する。

●実績数値等

施設名	区分	利用者数 (総数)	利用者数 (町外利用者)	施設稼働率	委託事業の実施状況		自主事業の実施状況		利用者アンケート		利用料金収入状況	地元発注状況
					事業数	参加人数	事業数	参加人数	サンプル数	利用者満足度		
図書館	基準値※ ¹ ①	19,965人	1,963人	44%								3,966,604円
	目標値②	19,000人			17事業	11,925人	12事業	2,140人				
	実績③	13,161人	1,341人	59%	17事業	7,274人	12事業	1,934人			12,141円	3,962,369円
	増減③-①※ ²	△6,804人	△622人	15%	0事業	△4,651人	0事業	△206人				△ 4,235円
	基準値対比③/①※ ³	66%	68%	134%	100%	61%	100%	90%				100%

※¹利用者数、施設稼働率の基準値は平成28年度～令和2年度実績の平均値

※²委託事業の実施状況、自主事業の実施状況、利用者アンケートは実績③-目標値②を記載

※³委託事業の実施状況、自主事業の実施状況、利用者アンケートは実績③/目標値②を記載